

礼文島トド島におけるノネコの確認

風間健太郎¹⁾²⁾・風間麻未¹⁾²⁾・沖山 幹²⁾・佐藤夕夏³⁾

¹⁾ 〒 359-1192 埼玉県所沢市三ヶ島 2-579-15 早稲田大学人間科学学術院

²⁾ 〒 097-0311 北海道利尻郡利尻町仙法志字本町 97-2 利尻自然史研究室

³⁾ 〒 080-8555 北海道帯広市稲田町西 2 線 11 帯広畜産大学院保全生態学研究室

Observation of a Feral Cat *Felis silvestris catus* on Todojima, Rebun Island

Kentaro KAZAMA¹⁾²⁾, Mami KAZAMA¹⁾²⁾, Motoki OKIYAMA²⁾ and Yuka SATO³⁾

¹⁾Faculty of Human Sciences, Waseda University, 2-579-15 Mikajima, Tokorozawa, Saitama, 359-1192 Japan

²⁾Rishiri Natural History Institute, 97-2 Senhoshi Honcho, Kutsugata, Rishiri, Hokkaido, 097-0311 Japan

³⁾Laboratory of Conservation Ecology, Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine,

Nishi 2-sen 11, Inadacho, Obihiro, 080-8555, Hokkaido Japan

Abstract. A feral cat *Felis silvestris catus* was observed and filmed from 3 to 5 July 2019 in Todojima, Rebun Island.

2019年7月3日から5日に北海道礼文島トド島にてノネコ *Felis silvestris catus* (野生化したネコ) を目撃および撮影したので報告する。

トド島は面積 0.21km² の無人島であり、島の海岸斜面や岩礁にはウトウ *Cerorhinca monocerata*, オオセグロカモメ *Larus schistisagus*, およびウミウ *Phalacrocorax capillatus* が繁殖している(長谷部・先崎, 2016; 今野・千嶋, 2018; 風間ら, 2019)。筆者らは海鳥調査のためにトド島に渡り、7月3日から5日まで滞在した。3日の22:00頃に島内で黒色のノネコを目撃したため、島北部の海岸に設置した滞在用テントの脇にセンサーカメラ(Bushnell トロフィーカム XLT30MP ノーグロウ DC)を設置し、4日の20:00から5日の8:00まで撮影を行った。カメラには人感センサーが搭載されており、約20mの範囲内において動きを感知すると約10秒間の動画が撮影されるように設定した。

センサーカメラによりノネコが合計3回撮影された(図1)。3回ともに、ノネコはテントの周辺

を歩き回り、周囲の臭いを嗅いだ後去った。いずれも黒色の個体であり、同一個体である可能性が高かった。

近年、国内外各地において海鳥はノネコによる捕食の被害を受け、個体数を大きく減少させている



図1. 2019年7月4日22:23に礼文島トド島においてセンサーカメラにより撮影されたノネコ。

Fig 1. Feral cat filmed by sensor camera on 4 July 2019 in Todojima, Rebun Island.

(Kawakami & Fujita, 2004; 堀越ほか, 2009; Medina *et al.*, 2011; 富田ら, 2016; Dias *et al.*, 2019). 今回の撮影においてノネコによる海鳥の捕食は確認されなかったものの、トド島における海鳥への被害が懸念された。そのため、著者らは調査後にトド島でのノネコ確認の事実を環境省稚内自然保護官事務所および北海道宗谷振興局に通報した。環境省と宗谷振興局が確認をとったところ、ノネコは海鳥による漁業被害を軽減するために海鳥個体数を減少させる目的で礼文町の漁業者がトド島に放獣したことが判明した。環境省および宗谷振興局は9月上旬に礼文町民向けに説明会を開催し放獣行為に対して注意喚起を行ったが、ノネコの捕獲や駆除は実施しなかった。それ以降のトド島のノネコの動向は不明であるが、今後も注視が必要である。

謝辞

野外調査にご協力いただいた鹿川義光氏に感謝申し上げます。本調査は日本学術振興会科学研究費助成金 19K06083 の助成を受け実施された。

引用文献

- Dias, M. P., R. Martin, E. J. Pearmain, I. J. Burfield, C. Small, R. A. Phillips, O. Yates, B. Lascelles, P. G. Borboroglu & J. P. Croxall, 2019. Threats to seabirds: A global assessment. *Biological Conservation*, 237: 525–537.
- 長谷部真・先崎理之, 2016. 礼文島における海鳥の繁殖記録. 利尻研究, (35): 25–29.
- 堀越和夫・鈴木創・佐々木哲朗・千葉勇人, 2009. 外来哺乳類による海鳥類への被害状況. 地球環境, 14: 103–105.
- Kawakami, K & M. Fujita, 2004. Feral cat predation on seabirds on Hahajima, the Bonin Islands, Southern Japan. *Ornithological Science*, 3: 155–158.
- 風間健太郎・馬鋭・安積沙羅々・綿貫豊, 2020. 礼文島トド島におけるオオセグロカモメ *Larus schistisagus* とウミウ *Phalacrocorax capillatus* 営巣数. 利尻研究, (39): 1–3.
- 今野怜・千嶋淳, 2019. 1996年と2000年の海驢島で観察した鳥類と海鳥の生息状況. 利尻研究, (38): 1–6.
- Medina, F. M., E. Bonnaud, E. Vidal, B. R. Tershy, E. S. Zavaleta, C. J. Donlan, B. S. Keitt, M. le Corre, S. V. Horwath & M. Nogales, 2011. A global review of the impacts of invasive cats on island endangered vertebrates. *Global Change Biology*, 17: 3503–3510.
- 富田直樹・佐藤文男・岩見恭子, 2016. 山形県飛鳥のウミネコ繁殖地のネコによる被害状況. 山階鳥類学雑誌, 47: 123–129.